



## 子どもたちが大きく成長した夏休み！

8月30日(水)夏休み明けの朝会で、子どもたちに、夏休みをふりかえり「みんなに話したい・伝えたいこと」を、発表してもらいました。各学年から数名ずつの発表だったのですが、「がんばったこと」「楽しかったこと」「たいへんだったこと」等どの子どもの発表も充実した夏休みだったことが伝わるよい内容でした。そして、廊下に飾られた自由研究や作品からは、なぜこれに取り組んだのか、そしてどこを工夫・苦心したのかなど、試行錯誤しながら完成させたようすがそれぞれに感じられました。「コツを研究したら自転車に乗れるようになった」「二重跳びができた」「草花調べ、たいへんだった」黒板アート等もの作り・調べ学習・・・、各教室でおこなわれた自由研究の報告会でも堂々と説明し、また友だちの発表には目を輝かせ、互いのがんばりに拍手を送っていました。

最後まで取り組んだ経験は、子どもたちの「がんばって仕上げたよかった」という成功体験となり、「次もまた」という意欲につながることでしょう。各ご家庭での粘り強い継続した声かけ・支援があればこそその成果です。ありがとうございました。懇談会まで展示していますので、どうぞ力作の数々をご覧ください。

心も身体もぐんとたくましく成長した子どもたちと共に、前期のまとめ、そして後期に向けて、ステップアップ！ 学校生活をより充実させていきます。



## 夏休み中・・・① サマースクール 水泳教室で泳力アップ！

7月27・28日に、3年生以上を対象にサマースクール(水泳教室)を実施しました。マンツーマンの2日間の個別指導で、一人ひとり着実に泳力アップが見られ、充実した水泳教室となりました。夏休み明けの記録会でも、十分にその成果が発揮されていました。



## ② サマースクール 国語・算数・学級タイム・タグラグビーで 元気パワーを発揮！

8月24日には、国語・算数のプリント学習、大平先生の指導によるタグとりおに・タグラグビー、学級タイムを実施しました。大平先生の楽しくわかりやすい指導で、子どもたちは元気いっぱいタグラグビーの魅力を感じていました。学級タイムでは、虫とり・かるたとり・タブレットのマッピング学習・水球とそれぞれに充実した時間を過ごしました。夏休み中に取り組んだ課題等の提出もおこないました。



バッタをつかまえた！ 大井きらめきカルタに挑戦！ マッピング「相和小のいいところ」 「水球」水中を走る？泳ぐ？

## ③ 職員も研修 教師力アップを図り、充実した夏休みに

夏休み中、職員も陶芸、体育、地域研修(ブルックスの屋上から大井町全体を、また遺跡等も)、ICT、人権、防災、不審者対応・・・、夏休み明けのよりよい教育活動に向けて、さまざまな研修をおこないました。子どもたちだけでなく、職員も同様に充実した夏休みとなりました。 **体育実技研修→**



## 地震警戒宣言による引き取り訓練 8月30日

夏休み明けの初日、今年も地震・引き取り訓練を実施しました。東海地震の警戒宣言の発令を受け、子どもたちの安全を確保し、保護者の方へ引き渡し、確実に帰宅させることを想定した訓練です。学校では、地震のゆれを感じたら、次の様に行動することを指導しています。



**落ちてこない、倒れてこない、動いてこない 安全な場所で 命を守る**

**3つの行動 ① ひくく(しゃがむ) ② 頭を守る ③ その場で動かない**

地震はいつ起きるかわかりません。もしものときに、大人がそばにいらなくても自分の判断で適切に行動できる力を子どもたちにつけることをねらい、今後も訓練を重ねていきます。

## 相和っ子のサツマイモ畑に イノシシが出没！ イモは収穫できる？

8月下旬に、相和っ子班で育てているサツマイモがイノシシに荒らされているという連絡を地域の方からいただきました。今までなかったことなのでびっくり。あわてて畑を見に行くと、掘られた後の穴がいくつもあります。子どもたちのサツマイモが・・・。どうしたらよいかと対策を聞いたり調べたりしたのですが、なかなか妙案が見つかりません。子どもたちの畑なので、わなや



電気柵はちょっと・・・。うーんと困っていたところ、もしかしたらという情報をいただきました。できることなら何でも、ということで残っているサツマイモの周囲にイノシシが苦手だというものを網に入れ棒でたててみました。イノシシが苦手なもの、それは人間のにおいだそうです。具体的には髪の毛がいいということととにかく試してみることにしました。今のところ、新たに出没していません。収穫の季節までもう少し、残っているサツマイモが無事収穫できることを願っています。

## いつも 学校として子どもたちを見守り支えてくださっている地域の皆様に 心から感謝します

### すばらしい砂場が完成

周囲の木枠が年月と共に朽ちてきていてなんとかしたいと考えていた砂場が、今年の夏休み、見違えるほどりっぱな砂場に変身しました。相和小OBの古矢清久さんがボランティアで、後輩のためにと木枠の材料費のみで作業をしてくださいました。風雨で土砂が流れ傾いていた砂場をコンボで掘り起こし、周りに土を継ぎ足し、長く安全に使えるようにと特別なコーティングをした枠を埋めて完成。夏休み明けに、6年生が連合体育大会の練習で使えるようにと多忙のなか作業してくださいました。新しくなった砂場を、子どもたちがさっそく楽しそうに使っていました。



### プールフェンスはアサガオの花がいっぱい

初夏に地域の方からいただいたアサガオの苗が、今プールフェンス上部いっぱい花を咲かせています。白地に淡い青色の筋が入った花とギャザーをよせたように花びらがいっぱいのピンクの花の2種類があり、毎朝子どもたちが登校してくると、アサガオの開花を楽しんでいます。



### きれいに環境整備されている相和小の校庭 枯れた枝の伐採 サツマイモの被害も気にか

相和小学校の校庭の木は、瀬戸好夫さんが定期的に剪定してくださっています。先週も、環境整備作業の前でできるところをと剪定してくださいました。そして9日(土曜)におこなわれたPTA環境整備作業では、多くの皆様のご協力のもと、周囲の草がすっきりと刈り取られました。きれいに整備された環境で、子どもたちがのびのびと生活できることをありがたく思います。

先日は、学校入り口の桜に木の折れる心配がある枯れ枝があることをお話したところ、中屋敷の自治会長さんが気持ちよく切ってくださいました。また、前述のサツマイモ畑のイノシシが出た際には、連絡をいただいたり対策を考えていただいたり、もしサツマイモが収穫できなかったときには子どものイモは何かするからという連絡をいただいたり・・・いつも地域の皆様に温かく見守っていただき、さまざまな場面で支えていただいていることをあらためて思いました。心から感謝いたします。